

- * 『サ』行で空気の足りない発声をしてしまいます。なんとか克服する手立てはありませんか？

答：手を開き、手の平を口の前5cm位にかざします。そこえ向けて、空気をぶつけるように『サッ・サッ・サッ』と強く発音します。空気をぶつける事で強い摩擦音の生成が可能になります。

- * 空気の取込みがうまくいきません、良い方法がありますか？

答：空気を摂取する際に『手でジェスチャー』して、摂取を忘れないように自らに合図を送ると効果があります。ジェスチャーだけでも空気を取込む事は出来ませんので注意してください。

- * 訓練士さんに練習中、頭を上げてと、注意を受けるのですがどの程度上げて良い物やら見当が付きませんか？

答：前方に目標を定め、例えば前の人のおでこに向かって話けると何時も頭は上げた状態になりますので発声はとて良くなります。